

地域の太陽 あおがきっ子

青垣小学校 校長だより 令和8年6月号 発行責任者 植木政行

こどもの思いや願いをカタチに！ 『図書室大改造プロジェクト』

市は、令和7年4月1日から「丹波市こどもの権利に関する条例」を施行し、こどもにとって大切な4つの権利を定めています。

生きる権利（第4条）

こどもたちには、必要な医療が受けられたり、犯罪や事故などから守られたりなど、安心して健やかに生きる権利があります。

育つ権利（第5条）

こどもたちには、一人ひとりの個性が認められ、自分らしくのびのびと遊び、学び、休み、健やかに育つことができる権利があります。

守られる権利（第6条）

こどもたちには、あらゆる危険や暴力などの権利侵害から守られる権利があります。

参加する権利（第7条）

こどもたちには、自分に関わりのあることについて、自由に意見を言い、その意見が尊重されることで社会に関わることができる権利があります。

丹波市教育委員会では、こどもが参加・参画する機会を創出し、当事者であるこどもの意見を最大限尊重する「こどもが描く学校図書館づくり支援事業」を進めています。

青垣小学校は本年度、『図書室大改造プロジェクト 夢の図書室を創り出そう』として、こどもたちが、自分たちの思いや願いをカタチにしようと取り組んでいます。

青垣図書館の工夫を学ぼう！

プロジェクトの主体は、6年生です。全校生にアンケートを取って、みんなの思いや願いをカタチにしますが、はじめに6年生一人ひとりが自分の「夢の図書室」を描きました。

まずは、4月14日（火）に青垣図書館へ見学に行き、本の並べ方やスペースの活用などの工夫を教えていただいたり、毎日の業務の内容について聞かせていただいたりしました。

小学校の図書室にはどんな工夫があるのだろう？

20日（月）には、旧青垣町時代は「学びの館」、丹波市発足後は青垣図書館などで勤務され、現在、小学校の読み聞かせボランティアをしていただくとともに、定期的に図書室の整備をしていただいている足立容子さんに、本の分類や各コーナーの掲示の工夫などについてお話いただきました。子どもたちは、図書室を「学びの拠点」に加え、安心できる「居場所」としても捉えていきました。

参加する権利（第7条）

こどもたちには、自分に関わりのあることについて、自由に意見を言い、その意見が尊重されることで社会に関わることができる権利があります。

【主な内容】

- ・仲間を作り、自由に集うこと
- ・自己表現、意思の表明ができ、それが尊重されること
- ・社会に参画し、意見等が活かされる機会があること
- ・意見表明や社会参画に、適切な支援が受けられること

「丹波市こどもの権利に関する条例」
(丹波市福祉部こども福祉課パンフレットより)



青垣図書館：本の並べ方の工夫



青垣小学校図書室：新刊コーナー

グループで全体の構想を考え、プロジェクトチームにプレゼンテーション

プロジェクトチームは、青垣小中学校学校運営協議会の橋本崇史会長をリーダー、同協議会地域振興部の出町慎部長を副リーダーとして、6年生児童、保護者、地域の方、教職員で構成しています。

5月26日(火)に、6年生が、保護者、地域の方に、グループで考えた構想のプレゼンテーションをしました。設計図を描いたり、立体的なイラストで表したり、購入したい棚、机、ソファなどの価格を提示したりして、どのように伝えれば、自分たちの夢を応援して下さっている方へ意図が伝わるのかを考えて提案しました。



提言を熱心に聞いてくださる地域の方

第1回プロジェクト会議

こどもたちの提言から、プロジェクトチームでひとつの案を作ってください、6月9日(火)に「第1回プロジェクト会議」を行いました。提示された内容について、こどもたちが質問や意見を活発に発言し、その思いや願いを大人の方が汲み上げてくださって、協議を深めました。



児童会、図書委員会の児童がこども代表で参加

【協議内容】

- 書架やカウンターを購入しようとするので、予算をオーバーするので、ワークショップで制作してはどうか。
- Yogibo (ヨギボー) は、肌に触れる感覚が良いが、破れことがある。購入するのであれば、こどもたちで使い方を考えておく必要がある。
- こどもたちから買ってほしいという要望が多かった漫画は、予算での購入が難しい場合、どのような漫画を置きたいのかをよく検討して、地域の方に寄付を呼びかけることもできる。
- 明るいカーテンに加えて、観葉植物を置いて雰囲気をよくしたいが、水をあげないといけない。丹波市の図書館では、リースにしている。みんなで花を育てて飾り、短期間で入れ替えるのも良いのではないか。
- 折り紙コーナーで使うはさみなどはカウンターで管理する予定だが、コーナーに置けば使いやすいと思う。



全校生アンケート
「どんな本がほしいか、好きか」



こどものプレゼンテーションをまとめてくださった設計図

隣のコンピュータ室とつながったよ！

コンピュータ室は、1人1台タブレットの導入後、パソコンを撤去し、読み聞かせをはじめとする学校支援ボランティアの拠点として使用していただいています。ずっと昔から封鎖されていた扉を開くと、2つの部屋がつながったことに大喜びするこどもたち。一体化して活用することによって、青垣地域の教育力をさらに円滑に生かせる工夫を考えていきます。



新しく活用できる部屋に夢を広げる